「た」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「た」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 23

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「た」で始まる語彙辞典（メジャー）

タイ - アップ【tie-up】
［名］（スル）
協力・提携して行うこと。「地元の新聞社と―する」「―広告」

たい - あつ【耐圧】
圧力にたえること。「―構造」

たい - い【大意】
文章で、言おうとしている要点。大体の意味。おおよその趣旨。「―をとらえる」

たい - えい【退嬰】
しりごみして、ひきこもること。進んで新しいことに取り組もうとする意欲に欠けること。「―の風(ふう)がはびこる」「―主義」

たいえい - てき【退嬰的】
［形動］
進んで新しいことに取り組もうとしないさま。「―な時代精神」

たい - かん【大観】
［名］（スル）
① 広く全体を見渡すこと。大局を眺めること。「世界の政情を―する」
② 雄大な景色。壮大な眺め。「山頂からの―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たい - きょく【対極】
反対側の極。対立する極。「思想的に―をなす」

たい - く【体躯】
からだ。また、からだつき。体格。「しなやかな―」

たい - けい【大計】
大規模な計画。「国家百年の―を立てる」

太鼓(たいこ)を叩(たた)・く
人の言うことに調子を合わせて機嫌をとる。太鼓を持つ。「得意先に―・く」

たいしゅう - か【大衆化】
［名］(スル)
一般の人々の間に広く行き渡ること。一般大衆のものになること。また、そのようにすること。「海外旅行が―する」

たいしゅう - せい【大衆性】
一般大衆の共感を呼び、親しまれる性質を備えている傾向。「芸術に―が求められる時代」

たいしゅう - てき【大衆的】
［形動］
一般大衆に受け入れられるさま。「―な娯楽」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たい - しゅつ【帯出】
［名］（スル）
備品などを身につけて持ち出すこと。「許可を得て原簿を―する」「禁―」

たいしょう - てき【対症的】
［形動］
① 症状のそれぞれに対するさま。「―な治療」
② 表面的な状況に対処するだけで、根本的な解決を考えないさま。「―な方策」

たい - しょく【退色】
［名］（スル）
日光などにさらされて、色がだんだん薄くなること。色があせること。また、その色。「―したカーテン」

たいしょ - こうしょ【大所高所】
小さな点にこだわらない、広く全体を見通すような観点・視野。「―から物事を判断する」

たい - じん【対陣】
［名］（スル）
向かい合って陣を構えること。「川を挟んで敵と―する」

たい - せい【退勢】
勢いが衰えること。衰退の形勢にあること。衰勢。「社の―を挽回する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たい - ぜん【泰然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
落ち着いていて物事に驚かないさま。「―として構える」「―たる態度」

たいぜん - じじゃく【泰然自若】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
落ち着いていて物事に動じないさま。「―として騒がず」

たいそう - らし・い【大層らしい】
［形］［文］たいそうら・し［シク］
いかにも大げさである。「―・く言い触らす」

たい - そく【大息】
［名］（スル）
大きなため息をつくこと。嘆くこと。「天を仰いで―する」「長―」

たい - ち【対置】
［名］（スル）
二つの物事を対照させるようにおくこと。向き合うように据えること。「東西に塔を―させる」

たい - どう【胎動】
［名］（スル）
① 母胎内で胎児が動くこと。妊娠 5 か月過ぎから感じるようになる。
② 新しい物事が、内部で動き始めること。また、内部の動きが表面化し始めること。「独立の気運が―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たい - どう【帯同】
［名］（スル）
一緒に連れていくこと。「技術者を―して現地に赴く」

たいはい - てき【退廃的】
［形動］
道徳的にくずれて不健全なさま。デカダン。「―な時代の風潮」

たい - ひ【待避】
［名］（スル）
安全な場所などによけて、危険の過ぎるのを待つこと。「台風の通過を湾内で―する」

たいひ - てき【対比的】
［形動］
二つのものを比べることでその違いがはっきりするさま。「兄弟の性格を―に表現する」

たい - ほ【退歩】
［名］（スル）
あともどりすること。能力や技術などが以前より低くなること。後退。「記憶力が―する」⇔進歩。

たい - ぼう【耐乏】
物資のとぼしい状態を耐え忍ぶこと。「―生活」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たい - よう【耐用】
使用に耐えること。機械などの、期間や回数についていう。「―限度」

体(たい)をかわ・す
からだの向きを変えてよける。「ひらりと―・す」

体(たい)を成・す
まとまった形になる。形がととのう。「会社としての―・す」「文章の―・していない」

体(たい)を引・く
あとへ下がる。「―・いてよける」

た - いん【多淫】
［名・形動］
性的欲望が盛んなこと。淫事が過ぎること。また、そのさま。「―な（の）人」

た - お・る【手折る】
［動ラ五（四)］
① 道具を使わないで手で花や枝を折る。「桜の一枝を―・る」
② 女性をわがものにする。「うら若い淑女を―・る」

た - か【多寡】
多いことと少ないこと。多いか少ないかの、その量・額。多少。「人員の―は問わない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たか - あぐら【高胡坐】
無遠慮にあぐらをかくこと。「―で居座る」

たかく - か【多角化】
［名］（スル）
多方面・多分野にわたるように拡大すること。「経営を―する」

たかく - てき【多角的】
［形動］
いくつかの方面にわたるさま。「―に検討する」

たか - のぞみ【高望み】
［名］（スル）
身分や能力以上の高い望みをもつこと。分不相応な望み。「―しないで分相応な生活を送る」

たか - らか【高らか】
［形動］［文］［ナリ］
いかにも高いさま。高々としたさま。「声―に歌う」「行進曲が―に鳴り響く」

たか - わらい【高笑い】
［名］（スル）
大きな声で笑うこと。哄笑(こうしょう)。「無遠慮に―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

箍(たが)が緩(ゆる)・む
緊張がゆるんだり、年老いたりして、しっかりしたところがなくなる。締まりがなくなる。「組織の―・む」「―・んで遊びほうける」

箍(たが)を締・める
ゆるんだ規律や心持ちを引き締める。「連勝に浮かれる選手たちの―・める」

箍(たが)を外(はず)・す
規律や束縛から抜け出す。はめを外す。「今日一日は―・して大騒ぎしよう」

たく‐しゅつ【卓出】
［名］(スル)
他にぬきんでてすぐれていること。「―した作品」

たく‐ぜつ【卓絶】
［名］(スル)
他に比べるものがないほどすぐれていること。きわだってすぐれていること。「―した業績を残す」

たく‐そう【託送】
［名］(スル)
人にたのんで送ること。特に、荷物を運送業者などに頼んで送ること。「百科事典を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たく‐のみ【宅飲み】
俗に、仲間のだれかの自宅に集まって開く飲み会のこと。安上がりで気楽という利点がある。→街飲み

たく‐ばつ【卓抜】
［名・形動］（スル）
他のものをはるかに抜いてすぐれていること。また、そのさま。「―なセンスの持ち主」「―した技量」

たぐり‐あ・げる【手繰り上げる】
［動ガ下一］［文］たぐりあ・ぐ［ガ下二］
両手を交互に動かして上に引き上げる。「ロープを―・げる」

たぐり‐こ・む【手繰り込む】
［動マ五（四）］
たぐって自分の手元へ引き寄せる。「網を船に―・む」

たぐり‐だ・す【手繰り出す】
［動サ五（四）］
たぐって、少しずつ引き出す。「徐々に記憶を―・す」

たぐり‐よ・せる【手繰り寄せる】
［動サ下一］［文］たぐりよ・す［サ下二］
たぐって手元へ引き寄せる。「綱をひいて舟を―・せる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たけり - くる・う【猛り狂う】
［動ワ五（ハ四）］
興奮して、大声で叫んだり暴れたりする。「―・った群衆の波」

たけり - た・つ【哮り立つ】
［動タ五（四）］
けものなどが興奮して、盛んに大声でほえたてる。「―・つ獅子（しし）」

たけり - た・つ【猛り立つ】
［動タ五（四）］
すっかり興奮する。ひどく興奮する。「―・つ心を抑える」

竹（たけ）を割ったよう
《竹は一直線に割れるところから》
気性のさっぱりしているさま。「―な性格の人」

た - げん【多言】
［名］（スル）
口数の多いこと。ものを多く言うこと。たごん。「―を弄（ろう）する」「説明に―を要しない」⇔寡言。

た - こう【多幸】
［名・形動］
非常にしあわせなこと。また、そのさま。「御―を祈ります」「―な一生」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たこうかん【多幸感】
非常に幸せな感じ。特に、薬物などがもたらす過度の幸福感についていう。

蛸(たこ)の共食い
同類のものが互いに害し合うことのたとえ。

他山(たざん)の石(いし)
よその山から出た、つまらない石。転じて、自分の修養の助けとなる他人の誤った言行。「他社の不祥事を―として会計の透明化をはかる」

た‐しょく【多食】
［名］(スル)
いつもより、またはほかの人よりたくさん食べること。「生野菜を―する」

た‐じゅう【多汁】
多くの水気を含んでいること。果汁が豊かであること。「―で甘みのある果物」

たじょう‐たかん【多情多感】
［形動］［文］［ナリ］
感情が豊かで感受性の鋭いさま。「―な少年時代」

た‐せん【多選】
選挙で、同じ人が何度も当選すること。「―市長に新顔が挑む」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

た - せん【他薦】
［名］（スル）
他人が推薦すること。「後任に―される」⇔自薦。

たた・える【湛える】
［動ア下一］［文］たた・ふ［ハ下二］
① 液体などをいっぱいに満たす。「池に水を―・える」「目に涙を―・える」
② ある表情を浮かべる。感情を顔に表す。「満面に笑みを―・える」「愁いを―・える」

たたき - う・る【叩き売る】
［動ラ五（四）］
① 大道商人などが叩き売りをする。「安物の陶器を―・る」
② 大安売りをする。また、売ることを強調していう語。「土地を二束三文で―・る」

たち - うり【立（ち）売り】
［名］（スル）
一定の場所に店を構えず、駅の構内や路上などに立って物を売ること。また、その人。「駅弁の―」

たち - おくれ【立（ち）後れ】
たちおくれること。着手する時機を失うこと。「受験勉強の―がもろに響く」

たち - おと・す【裁（ち）落（と）す】
［動サ五（四）］
裁ち切って不必要な部分を取り除く。「布を―・す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たち - が・れる【立（ち）枯れる】
［動ラ下一］［文］たちが・る［ラ下二］
草や木が立ったままで枯れる。「街道沿いの松が―・れる」

たち - ぎえ【立（ち）消え】
① 火が燃え上がらずに中途で消えてしまうこと。
② 事件・計画などがいつの間にかなくなること。「旅行の話が―になる」

たち - ぎわ【発ち際】
ちょうど出かけようとする、その時。出発のまぎわ。「―に客が来る」

たち - ぐされ【立（ち）腐れ】
［名］（スル）
草木などが立ったままで腐ること。また、建物などが手入れをしないために荒れ朽ちてしまうこと。

たち - さき【太 - 刀先】
① 太刀の刃の先。切っ先。「―をかわす」
② 切りかかる勢い。また、口や筆によって攻撃する勢い。「―鋭く政府を攻撃する」

たち - づめ【立（ち）詰め】
長時間立ったままでいること。たちどおし。「満員電車の中を―で通う」「一日中―で作業する」

たち - どおし【立（ち）通し】
長い時間立ったままでいること。立ち詰め。「―で働く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たっ‐けん【卓見】
物事を正しく見通す、すぐれた意見・見識。卓識。「―の持ち主」

手綱(たづな)を締・める
① 馬が勝手に走らないように手綱を引きしぼって持つ。
② 勝手な言動をしたり、気を緩めたりしないように他人を抑制する。「活を入れてスタッフの―・める」

たて【殺陣】
演劇・映画などで、乱闘・捕り物・斬り合いなどの演技。たちまわり。「―を習う」「―師」

縦(たて)から見ても横から見ても
いろいろの角度から見ても。どう見ても。「―新入生だ」

蓼(たで)食う虫も好き好き
タデの辛い葉を食う虫もあるように、人の好みはさまざまであるということ。

たどり‐よみ【辿り読み】
［名］(スル)
文字を一字ずつたどりながら読むこと。「辞書と首っ引きで中国語を―する」

たな‐ざらえ【棚浚え】
［名］(スル)
在庫を整理するため、残っている商品の安売りをすること。たなざらい。「決算のために―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

た - なん【多難】
［名・形動］
災難や困難の多いこと。また、そのさま。「―な（の）生涯を送る」「多事―」

たね - ぎれ【種切れ】
品物・材料などがなくなること。「言いわけはもう―だ」

たのみ - すくな・い【頼み少ない】
［形］［文］たのみすくな・し［ク］
① 頼りになるものが少なくて心細い。「―・い顔ぶれで交渉に臨む」
② 長く生きられそうもない。

たび - ごころ【旅心】
① 旅をしているときの心持ち。旅の心。旅情。たびごこち。「―を味わう」
② 旅に出たいと思う気持ち。「―を誘われる」

たび - ね【旅寝】
［名］（スル）
自宅を離れ、よそで寝ること。旅先で泊まること。旅まくら。「異郷に―する」

たび - まわり【旅回り】
興行や商売をして各地を回ること。また、その人。「―のサーカス団」

た - ぶん【他聞】
ほかの人に聞かれること。他人の耳に入ること。「―をはばかる話」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たべ - よご・す【食べ汚す】
［動サ五（四）］
ぞんざいに食べて、あとをきたなくする。「行儀悪く―・す」

玉(たま)を転がす
非常に高く美しい声の形容に用いる言葉。「―ようなソプラノ」

矯(た)めつ眇(すが)めつ
あるものを、いろいろの方面からよく見るようす。「作品を―眺める」

ためん - てき【多面的】
［形動］
ものの在り方や見方がいろいろな方面にわたっているさま。「試案に―な検討を加える」

た - もくてき【多目的】
［名・形動］
同時に種々の目的をもっていること。また、そのさま。「―に利用する施設」

袂(たもと)に縋(すが)・る
願いを聞いてもらうまでは離すまいと、人のたもとをとらえる。転じて、相手の同情を引いて助けを求める。「―・って食いつなぐ」

袂(たもと)を連・ねる
人と行動を共にする。「賛同者として―・ねる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

袂(たもと)を分か・つ
行動を共にした人と別れる。関係を断つ。離別する。「盟友と―・つ」

たゆた・う【揺蕩う】
［動ワ五（ハ四）］
① ゆらゆらと揺れ動いて定まらない。「波間に小舟が―・う」
② 気持ちが定まらずためらう。心を決めかねる。

たわむれ‐ごころ【戯れ心】
本気でない軽い気持ち。ふざけた気分。「―で口説く」

啖呵(たんか)を切・る
《痰火がなおると胸がすっきりするところから》
歯切れのいい言葉で、勢いよくまくしたてる。「江戸っ子が威勢のいい―・る」

たん‐しょ【端緒】
《慣用読みで「たんちょ」とも》
物事の始まり。いとぐち。手がかり。「―を開く」

たん‐しょう【探勝】
［名］（スル）
景勝の地を訪ねて、その風景を楽しむこと。「秋たけなわの郊外を―する」

たん‐じつげつ【短日月】
わずかの月日。短い期間。「―で仕上げる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たん - せい【端正】
［名・形動］
① 姿・形や動作などが正しくてきちんとしていること。また、そのさま。「―な字」
②（端整）顔だちなどが美しく整っていること。また、そのさま。「―な目鼻立ち」

旦夕(たんせき)に迫・る
今日の夕方か明朝かというほど事態がさしせまっている。「命(めい)―・る」

たん - ぜん【端然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
姿勢などが乱れないできちんとしているさま。「―と座る」

たん - そく【嘆息】
［名］（スル）
悲しんだりがっかりしたりして、ため息をつくこと。また、そのため息。「―をもらす」「不運をかこって―する」

たん - たん【坦坦】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 地形や道路などのたいらなさま。「―と続く道」
② 何事もなく時の過ぎるさま。変化のないさま。「―たる余生を送る」

たん - たん【眈眈】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
鋭い目つきで獲物をねらうさま。また、野心をもって機会をねらうさま。「―とチャンスを待つ」「虎視―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

たん - たん【淡淡】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 色・味・感じなどが、あっさりしているさま。淡泊なさま。「―たる色調」
② 態度・動作などが、あっさりしてこだわりがないさま。「心境を―と語る」
③ 水が静かに揺れ動くさま。「―として水が流れる」

たん - たん【湛湛】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 水などがいっぱいにたたえられているさま。「―と水をたたえた湖」
② 露がいっぱいに降りているさま。

たん - どく【耽読】
［名］（スル）
読みふけること。夢中になって読むこと。「深夜まで推理小説を―する」

たん - れい【端麗】
［名・形動］
姿・形が整っていて、美しいこと。また、そのさま。「―な顔だち」

端(たん)を発・する
それがきっかけになって物事が始まる。「領土問題に―・した紛争」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　　↓　　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.